

平成29年度

事業報告書

平成29年 2月 1日から
平成30年 1月31日まで

一般財団法人世界少年野球推進財団

1. 第27回世界少年野球大会 横浜大会 参加者募集

前年度まで記者発表を開催し参加者募集を行っていたが、今大会は開催地枠も含めた全体の募集枠が例年より少ないことや、過去の傾向から関東近郊での大会は応募者増となるため、記者発表は行わず、新聞社への投げ込み（3月3日）とホームページやSNSを使って参加者を募集した。

募集期間は3月1日（水）から3月27日（月）消印有効。

2. 横浜大会開催記者発表

平成29年6月12日（月）東京ドームホテルB1F「シンシア・ノース」で横浜大会開催記者発表を行い、横浜市 林市長、（公財）日本野球連盟 市野会長、日本プロフェッショナル野球組織 熊崎コミッショナー、（一財）世界少年野球推進財団 王理事長や、大会スポンサー各社代表らが出席した。

参加した記者は約20名。地元の神奈川新聞社含め全10紙や、インターネット記事に掲載された。

3. 第27回世界少年野球大会 横浜大会の開催

（1）大会趣旨

「野球を正しく全世界に普及・発展させると同時に世界の青少年に友情と親善の輪を広げる」という財団設立の趣旨を実現するとともに、2020年東京オリンピックで野球・ソフトボール会場に選定された横浜市にて、「Discover Baseball in YOKOHAMA!」をスローガンに、「横浜の地で野球（の楽しさ）を再発見しよう!」という願いを込めて開催した。

（2）期 日 平成29年8月8日（火）から8月16日（水）まで

（3）主 催 一般財団法人世界少年野球推進財団
公益財団法人日本野球連盟

（4）共 催 横浜市

（5）実施主体 一般財団法人世界少年野球推進財団

（6）主 管 世界野球ソフトボール連盟（WBSC）

（7）後 援 総務省 外務省 厚生労働省 経済産業省 国土交通省
スポーツ庁 公益財団法人全日本軟式野球連盟

平成29年度事業報告書

NHK NHKグローバルメディアサービス
朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞社 神奈川新聞社

- (8) 協 力 一般財団法人全日本野球協会
公益財団法人全日本大学野球連盟
日本プロフェッショナル野球組織 (NPB)
アメリカ・メジャーリーグ・ベースボール (MLB)
神奈川県野球協議会
- (9) 協 賛 アサヒ飲料株式会社 カシオ計算機株式会社
ジャパンローヤルゼリー株式会社 セコム株式会社
ソフトバンクグループ株式会社 大王製紙株式会社
大正製薬株式会社 デサントジャパン株式会社
株式会社東京ドーム 株式会社東芝
TOTO株式会社 ナガセケンコー株式会社
西川産業株式会社 日本航空株式会社
福岡ソフトバンクホークス株式会社 ミズノ株式会社
- (10) 協力団体・企業 えいへいじ緑清会 株式会社GABA 株式会社光洋
JA全農たまご株式会社 株式会社千修
株式会社中央軒煎餅 日新航空サービス株式会社
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ
北陸民法クラブ・福井 Honda Cars横浜
公益財団法人ミズノスポーツ振興財団
雪印メグミルク株式会社 公益財団法人横浜企業経営支援財団
- (11) 参加国・地域 カンボジア 中華人民共和国 中華台北 フランス
ドイツ インド イタリア ニュージーランド
フィリピン アメリカ合衆国 日本 (11か国・地域)
- (12) 参加者宿舎 野島青少年研修センター
- (13) 会 場 【開会式】 横浜スタジアム
【野 球 教 室】 横浜市金沢産業振興センター野球場
【ウェルカムパーティー】 ホテル横浜ガーデン
【グッドウィルパーティー】 ロイヤルホールヨコハマ
【記念パーティー】 ロイヤルホールヨコハマ
【閉会式】 横浜市金沢産業振興センター体育館 (雨天)

(14) 大会概要

世界11か国・地域から参加した少年少女80名が4つのグループに分かれて野球教室に参加し、WBSC選出のコーチたちから野球の基礎を学んだ。また、午後は「横浜・八景島シーパラダイス見学」や、「水陸両用バス スカイダック体験」「横浜DeNAベイスターズ試合観戦」「買い物体験」など、様々な交流行事に参加し親交を深めた。雨のため、「横浜プールセンター」は中止となった。

全体的に雨の多い大会で、多少の予定変更はあったものの、開会式などの要所は天気に恵まれ、無事に開催できた。野球教室や交流行事も、横浜市をはじめ各所の協力のもと、怪我や大きな病気もなく成功裏に終えることができた。今大会は、過去にはない小さな規模の大会であったが、世界中からの参加者が東京オリンピック野球・ソフトボール会場を肌で感じられる、大変意義のある大会となった。

※大会詳細については、別紙「横浜大会報告書」に記載。

4. 少年野球教室、指導者講習会の開催

(1) JA全農WCBF少年野球教室 *平成5年から毎年開催

全国農業協同組合連合会（JA全農）が特別協賛し、当財団が主催して毎年開催している野球教室。全国農協食品株式会社と全農パールライス株式会社、JA全農青果センター株式会社、JA全農たまご株式会社、JA全農ミートフーズ株式会社、全農チキンフーズ株式会社、雪印メグミルク株式会社の7社の協賛を得ている。

今期中は下記の日程で6回行った。教室では講師のプロ野球OBが小中学生に投げる、捕る、打つ、走る、の基本を指導、少年野球指導者には正しい練習方法や指導方法などを教えた。また、トレーナーによる正しいトレーニング方法の指導や、保護者を対象とした管理栄養士による栄養学教室を併せて開催した。

1) 徳島県阿南市

期 日 平成29年5月20日（土）

会 場 JAアグリあなんスタジアム

講 師 投 手：西崎 幸広（日本ハムOB） 捕 手：里崎 智也（ロッテOB）

内野手：緒方 耕一（巨人OB） 外野手：鈴木 尚広（巨人OB）

指導者講習会：石川 慎二（NSCA認定パーソナルトレーナー）

管理栄養士：阿部 菜奈子（Office LAC-U所属 管理栄養士）

参加者 選手154名 指導者27名 栄養学教室26名

2) 山口県山口市

期 日 平成29年6月17日（土）

会 場 山口きらら博記念公園 多目的ドーム

講 師 王 貞治

平成29年度事業報告書

投手：西崎 幸広 捕手：西山 秀二（広島OB）
内野手：緒方 耕一 外野手：柴原 洋（ソフトバンクOB）
指導者講習会：鈴木 拓哉（トレーナー/株式会社ドームアスリートハウス所属）
管理栄養士：海老 久美子（立命館大学スポーツ健康科学部教授）

参加者 選手191名 指導者44名 栄養学教室33名

3) 新潟県長岡市

期日 平成29年9月2日（土）
会場 長岡市悠久山野球場
講師 投手：川口 和久（巨人OB） 捕手：里崎 智也
内野手：緒方 耕一 外野手：屋鋪 要（巨人OB）
指導者講習会：石川 慎二（NSCA認定パーソナルトレーナー）
管理栄養士：阿部 菜奈子（Office LAC-U所属 管理栄養士）

参加者 選手195名 指導者35名 栄養学教室24名

4) 宮崎県宮崎市

期日 平成29年9月9日（土）
会場 宮崎市生目の杜運動公園 アイビースタジアム
講師 投手：西崎 幸広 捕手：谷繫 元信（中日OB）
内野手：宮本 慎也（ヤクルトOB） 外野手：柴原 洋
指導者講習会：石川 慎二
管理栄養士：海老 久美子

参加者 選手209名 指導者43 栄養学教室35名

5) 愛知県岡崎市

期日 平成29年10月14日（土）
会場 岡崎中央総合公園 総合体育館（雨天）
講師 投手：山本 昌（中日OB） 捕手：里崎 智也
内野手：駒田 徳広（横浜OB） 外野手：屋鋪 要
指導者講習会：石川 慎二
管理栄養士：阿部 菜奈子

参加者 選手159名 指導者48名 栄養学教室31名

6) 山梨県南アルプス市

期日 平成29年11月11日（土）
会場 楡形総合公園 南アルプスジットスタジアム
講師 王 貞治
投手：西崎 幸広 捕手：里崎 智也

平成29年度事業報告書

内野手：駒田 徳広

外野手：緒方 耕一

指導者講習会：鈴木 拓哉

管理栄養士：阿部 菜奈子

参加者 選手149名 指導者22名 栄養学教室22名

(2) 三井ゴールデン・クラブ野球教室 *平成22年から毎年開催

「子どもたちが怪我をせず、大好きな野球に一生懸命取り組んで、長くプレーできるように」という願いを込めて、少年野球の指導者に正しい練習方法や指導方法を、実技と講義を通して身につけるとともに、野球理論を理解してもらうのを目的とした野球教室。年間を通して優れた守備をしたセ・パ両リーグの選手たちに毎シーズン後「三井ゴールデン・クラブ賞」を贈っている三井広報委員会（三井グループ企業など24社で構成）が主催で、当財団は特別協力。講師は全員、三井ゴールデン・クラブ賞の受賞者。平成29年度は次の2回行った。

1) 東京都町田市

期 日 平成29年3月4日（土）

会 場 町田市民球場

講 師 投 手：西崎 幸広

捕 手：里崎 智也

内野手：宮本 慎也

外野手：屋鋪 要

トレーナー：石川 慎二

参加者 指導者118名

2) 神奈川県茅ヶ崎市

期 日 平成29年9月16日（土）

会 場 茅ヶ崎市総合体育館（雨天）

講 師 投 手：西崎 幸広

捕 手：里崎 智也

内野手：宮本 慎也

外野手：屋鋪 要

トレーナー：吉田 直人（NSCAジャパン ヒューマンパフォーマンスセンター）

参加者 指導者145名

(3) 大正製薬野球教室

大正製薬と当財団との共催による、小学生を対象にした野球教室。毎年1回春に開催している。中野リトルリーグの所属選手がプロ野球OBの指導のもと、野球技術を学んだ。

期 日 平成29年4月1日（土）

会 場 所沢市 中野リトルリーグ専用グラウンド

講 師 投 手：荒木 大輔（ヤクルトOB）

内野手：緒方 耕一（巨人OB） 外野手：屋鋪 要

参加者 選手60名

5. 会報の発行事業

当財団の活動状況や事業内容、財団設立の目的、理念などを幅広く広報するため、会報第49号及び第50号を発行した。

【様式】 B5版 カラー印刷

【発行部数】 各4,000部

【発行日】 第49号 平成29年 6月1日付

第50号 " 12月1日付

【内容】 第49号 第27回世界少年野球大会横浜大会概要

第26回世界少年野球大会富山大会参加者感想

全国少年野球教室実施報告、他

第50号 第27回世界少年野球大会横浜大会実施報告

全国少年野球教室実施報告、他

【配布先】 関係機関、団体 協賛企業 寄付者

WCBF会員（個人、法人、構成団体）

マスコミ 関係官庁 野球団体 大会参加者など

6. グッズ等の企画、製造、販売事業

当財団が行っている、大人から子どもまで幅広い年齢層に人気があるサンリオキャラクター・ハローキティを生かしたプロ野球球団のぬいぐるみやキーホルダー、タオルなどのグッズや、球団オリジナルグッズの販売を本年も実施した。

昨年より売上げ及び利益が減少する結果となった。昨年と比較すると、特に主力商品である読売ジャイアンツの商品がチームの成績が振るわず昨年の売上げを下回った。オリックスバファローズ及び中日ドラゴンズの売上げも成績不振から昨年を大きく下回る結果となった。また福岡ソフトバンクホークスの商品も企画商品を実施できなかったため昨年より減少となった。

一方、横浜DeNAベイスターズ及び北海道日本ハムファイターズの売上げは好調で、昨年を大きく上回る結果となった。また、「球団ガールズDAY」とのコラボ企画が実施できた千葉ロッテマリーンズ、東北楽天イーグルス、優勝した広島東洋カープ関連商品の東京ドーム販売の売上げも昨年を上回る結果となった。

7. 新規会員確保への業務

昨年度に引き続き、当財団の運営を安定させるため、関係団体や個人を通じて会員協力を呼びかけた。

法人会員、個人会員ともに、横浜大会やその他の関係者からの紹介等で、若干の増となった。

増減は次の表を参照。

	H28. 3	H29. 3	H30. 3	前回増減
法人会員	67件	71件	77件	6件
個人会員	523件	492件	508件	16件

8. その他

平成29年3月29日 平成29年度第1回定時理事会開催
 平成29年4月13日 平成29年度第1回定時評議員会開催
 平成29年4月13日付 平成29年度第2回理事会（みなし決議通知）
 平成29年4月13日付 理事全員一致で決議があったとみなされた日

平成30年1月17日 平成29年度第3回理事会
 平成30年1月17日付 平成29年度第2回評議員会（みなし決議通知）
 1月31日付 評議員全員一致で決議があったとみなされた日

以上

平成29年度事業報告書

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成30年3月

一般財団法人世界少年野球推進財団